

### 貴族の生活と文化

#### ◎貴族

- ・年中行事や各種の儀式を重んじた生活
  - ・( )の文学や歴史を読む
  - ・自ら( )を作る
- } 暮らしの中の  
} 楽しみ

( )の廃止により

唐風文化 ⇒⇒⇒⇒⇒ [ ]

- ・日本の自然と生活にあった文化

貴族の家には、

池や築山の庭がある [ ] があらわれた。

絵画では、

やわらかな線とはなやかな色で、日本の風景や  
風俗を描く [ ] がおこり、屏風などに描かれた。



↓ (その後)



絵と文字をおりまぜて物語を展開する [ ]

が作られた。

- ・文学では、( )が使われ、日本の言葉を自由に文でかけるようになった。
- ・( )の発達
- ・かなで物語や随筆が書かれるようになる。

朝廷の文書や男性の日記⇒ ( )

すぐれた文学作品の多くは女性による。

章

### 文学作品

10世紀初め 『 』 ( らが編集)

『 』 ( )

- ・かなで書かれた紀行文
- ・女性が書いたように

『 』 (作者不詳)

- ・かぐや姫の一生をえがいた

摂関政治が栄えた頃の宮廷に仕える女性の作品

『 』 ( )

- ・随筆
- ・折々の思いを書きつづった
- ・貴族の生活と感情を深くとらえた。

院政期

『 』

- ・武士や農民の姿をえがいた仏教説話集

#### 寝殿造

屋根は檜皮葺、柱には白木を用い、床は板敷きで所々に畳をしいた。中央に寝殿をおき、左右対称の建物を配して長い廊下で結ぶ。大きな庭の中に池と島を作る。貴族の邸宅として平安時代の中頃からしばしば作られた。

#### 大和絵

中国の唐絵に対していう言葉で、平安時代にはじまる日本的な絵画のことをいう。屏風やふすまに描かれたり、絵巻物として発達した。これまで描かれていた中国的な構図や題材ではなく、身の回りにある風景や年中行事などを題材にしている。